

第3号

## 新風会だより

発行:平成20年9月

磯崎陽輔新風会

大分市長浜町2-12-10

電話 097(535)8260

<http://www17.ocn.ne.jp/isozaki/>

## ヨウスケが行く

参議院議員 磯崎陽輔



皆さんこんにちは。磯崎陽輔です。

参議院議員になって1年が経過しました。ねじれ国会の下厳しい国会運営が続いていますが、元気ががんばっています。国会開けには、国会議員として初めてカナダ・アメリカに海外出張しました。外国人労働者の受入れ問題などをテーマとした視察です。

福田内閣は残念ながら退陣することになりましたが、新総理・総裁の下、挙党一致で、日本の改革に取り組んでまいりる決意です。しかし、いまだ年金記録問題、後期高齢者医療問題、国土交通省や防衛省の不祥事を抱える上に、最近の原油、鉄、食糧を始めとする原材料の高騰問題が襲い、政治のかじ取りが極めて厳しい状況にあるのは、変わりありません。

参議院では、総務委員を務めています。道路財源問題では財政金融委員会で、後期高齢者医療問題では厚生労働委員会で、額賀財務大臣や舛添厚生労働大臣、あるいは民主党議員に対して、出張質問に立ちました。党内では、引き続き、「日本型移民国家への道」プロジェクトチームや道州制推進本部で事務局次長を務めています。

後期高齢者医療問題では、参議院の政策審議会で見直しの最先鋒を務めました。その結果、大分県内全18市町村で、老人世帯(単身・夫婦)では、長寿保険の保険料が従来の国民健康保険の保険料

よりも軽減することになりました。子供との同居世帯や国保以外の保険制度のお年寄りの場合は、保険料が若干上がったり、新たな負担が出て来る場合もありますが、すべてのお年寄りに平等に負担いただくためであり、御理解いただきたいと思っています。

保険料の年金からの天引きについては、法律事項であるので直ちに改正はできませんでしたが、運用上お年寄りや家族が保険料の口座振替を行う場合は、天引きを行わないことができることとしました。引き続き、制度の見直しに努めます。

また、燃油高騰対策も、大きな懸案です。漁業やハウス農家、運送業への影響には、本当に大きなものがあります。既に党で発表した対策にとどまらず、補正予算の確保に努力してまいります。

さて、「移民国家」と聞くと、びっくりなさるかもしれません。日本では少子化が進み、2050年には、今よりも5,000万人も人口が減り、8,000万人程度になることが予測されています。それでは、日本経済も国民生活も支えていくことができません。もちろん少子化対策も強力に進めていかなければなりません。それだけでは不十分であり、その一助として移民を入れていこうと考えています。

「移民」は、決して低賃金外国人労働者のことではありません。日本語が話せ、一定の学歴や資格を有する優秀な外国人を審査して入国を許可し、日本人と同じように働いてもらうのです。また、国籍を直ちに与えることも、考えていません。留学生を増やし、できるだけ日本で勉強し、日本の資格を取ってもらい、日本で働いてもらうというのが、「日本型移民国家」の特徴です。

戦後60年を経て、日本のかたちそのものを変えていかなければなりません。幕末・明治維新以来の大改革として、第二の開国である「移民国家への道」、そして「道州制」の導入による廃県置州。様々なお考えがあると思います。是非とも、国民的な議論を始めたいと考えます。御意見をお寄せください。

## 信念の政治家を期待

日出町 阿南由美子



福田康夫総理の思いがけない突然の辞任により、世間は衆院の解散・総選挙の時期に関心が集まってきています。一方で、世の中は原油価格の高騰に伴い、物価の上昇と景気の後退が顕著になり、市民の生活に影響がはじまっています。

解散・総選挙の時期が近づくと、支持を集めたいだけでは？と思われるようなバラマキ的な政策が出てきますが、私たち国民は小手先だけの政策を望んでいるわけではありません。皆、もっと骨太で本当にこの国の将来を考えた政策を望んでいるはずで、またそんな論争ができる政治家を求めています。私は、磯崎議員こそ、そうした政治家になれる方だと信じていますし、そうになっていただきたいと思っています。

さまざまな偽装や汚職事件が後を絶たない今日、

企業であれ個人であれ今後重要視されるのは「理念」や「信念」といったものではないでしょうか。それは政治にも言えることであり、「良識の府」あるいは「再考の府」と呼ばれる参議院の役割も今後一層大切なものになっていくと思います。こうした中、磯崎議員は政治家として、また参議院議員としての「信念」を胸に活動なさっているのだと推察しております。

現在は新人議員として、私たちには計り知れないさまざまな御苦勞をなさっていることと思います。目指す頂きが高ければ高いほど、道も険しくなるでしょう。しかし、そうした苦勞を厭わずに「糧」としながら、乗り越えて行かれていますのだと思います。

私たちが安心して暮らせる社会、それを次の世代に伝えていけるような社会になるように、磯崎議員と共に、私たち自身も努力していきたいと思っています。そして私たちの思いを受けながら真摯に活動されている磯崎議員に敬意を表しつつ、ここにエールを送りたいと思います。

## 国会豆知識

vol.3

### ■委員会面白い

国会は、立法府と言われます。法律を制定するため、衆参両院には、すべての国会議員により構成される本会議が置かれています。本会議での議決に先立ち、あらかじめ政策分野ごとに法律案の専門的な調査と審議を行うため、両院に委員会が設置されています。委員会の調査・審議を経ることで国会の意思決定がスムーズに進められるのです。委員会で審議し、議決した法案については、両院の本会議で討論の後、可決して初めて法律として成立します。

国会議員は必ず1つの常任委員会に所属せねばならず、また、必要に応じて特別委員会を設置することができます。衆参両院とも、常任委員会は、よく知られている予算委員会のほか、議院運営、内閣、総務など17あります。また「委員の差し替え」と言って、国会会派（政党と同じと考えてよい。）は、委員会のメンバーを差し替えることが可能です。先の通常国会で、磯崎議員は、本来総務委員会のメンバーですが、財政金融、厚生労働といった委員会に“出張質問”することもたびたびありました。もっとも、民主党側も同様で、厚生労働委員会では、与野党とも同じ顔ぶれ同士で丁々発止のやりとりをする場面も。

国会法の定めにより、委員会は委員の半数以上が出席しないと開けないため、先の通常国会では野党側が審議を拒否し、開会できずに、長く国会が空転したことは記憶に新しいところでしょう。ちなみに、本会議は、全議員の3分の1の出席があれば開会できます。

また国会の機関ではなく政党の組織として、国会対策委員会があります。いわゆる「国対」は我が国特有の組織で、法案、条約などの国会に提出された案件をどのように優先順位をつけて処理していくかを判断する機関です。まさに与野党の駆け引きの現場というわけです。自民党には「国対3年ルール」というものがあり、大臣経験者であっても、新人議員は、国対に3年間は属さねばならない、とされています。それほど重要なポジションということでしょう。

議院の議事を采配する正式な国会の委員会は、議院運営委員会です。同委は法案審議をどの委員会にするか、また委員会審議が終了した案件をいつ本会議にかけるかなどを決めます。ただ与野党対決法案の処理については、与野党国対委員長や幹事長会談で合意しているのが慣例です。これが行き過ぎると、「国対政治」との批判が出てくるかもしれません。



## 対談

第3回  
「NPO」

ガンバレ大分社会貢献ファンド運営会長 宗 公一郎  
 NPO法人総合学習研究所理事長 木下 和子  
 NPOおおいた豊後ルネッサンス理事長 日野 直子  
 参議院議員 磯崎 陽輔



対談相手の皆様と（右から 宗さん、木下さん、日野さん）

—NPO活動を始めたきっかけは。

**(宗)** 長年民間レベルでの埋蔵文化財の発掘調査に携わってきましたが、活動をしていく中で民間を指導育成する機関が必要であると痛感し、企業を退職してNPOを立ち上げました。現在は歴史散策など文化財を活かしたまちづくりを行政と協力して進めています。また、資金不足で悩むNPO法人を助成するお手伝いもさせていただいています。

**(木下)** 文部科学省が総合的な学習の時間の一環として設けた社会人講師の資格を取得し、行政のサポート役という位置付けでNPO活動を始めました。最初は思うように活動できなかったのですが、「食育」に着目し、大分の郷土料理鳥天の普及活動をするようになりました。大分の味、お袋の味を次世代を担う子供たちにしっかりと伝えていきたいですね。

**(日野)** あるテレビ番組で大分県は16世紀の大友宗麟の時代に既にヨーロッパとの交流があったことを知りました。また、大分は西洋音楽が日本で最初に伝わった地であり、ボランティア発祥の地でもあります。高校卒業後ずっと東京で暮らしていましたが、大分に戻ってからは、この素晴らしい文化・歴史を広めるため主に音楽祭の企画を通じて活動しています。

**(磯崎)** 阪神淡路大震災（1995年1月）では多くのボランティアの方が動いてくださいました。これを機にNPO法制定の動きが一気に加速しました。私は当時自治省の職員としてNPO法案作りに取り組みました。このほか災害ボランティア保険の導入や外傷救急措置の技術認定機関であるJPTECの副会長としてNPO活動にかかわってきた経緯があります。

—活動する上での問題点をお聞かせください。

**(日野)** 企業は文化・歴史に関する理解を高めて

ほしいですね。NPO活動へもう少し積極的な支援をしていただけると助かるのですが。

**(宗)** しかし、寄附する余裕のある企業が少ないのも現実です。大企業は積極的に支援しているのですが、やはり本社ベースの取扱いになっているように思います。

**(木下)** 行政は、各NPOの活動内容をよく把握できないままに助成金を支給しているのではないかと危惧しています。

**(宗)** NPO活動をする上で資金不足は深刻です。ですから今後は事業型NPOの普及が必要になってくるのではないのでしょうか。

**(磯崎)** NPOが助成金に頼らずある程度自立するということですね。

**(宗)** そうです。活動が認められて助成金が支給されるというのが正しい方向だと思います。

—要望があればお聞かせください。

**(宗)** 行政にNPOに関する理解・知識を高めてもらうこと、NPOを活動分野に応じて仕分けすることを要望します。そして、NPOも一層の自効努力が必要だと思います。

**(木下)** NPO活動がまだまだ世間に認知されていないですね。多くの人がNPO活動に参加したいと思えるような魅力的な要素を打ち出していきけるよう行政にサポートしてもらいたいです。

**(日野)** 私は、NPOの力でまちおこしをやりたいですね。市民運動が起き、NPOが中心になり企画・提案をしてまちを作っていく、NPOがそういうパワフルな存在になればと思います。そのために、行政には、ボランティアの金銭的負担が重くならないよう、交通費支給など資金的援助をしていただきたいです。

**(磯崎)** 私は、ボランティアをコーディネートするシニアボランティアが必要だと思います。そしてシニアボランティアを行政ではなく市町村議会に直結させてはどうかと考えています。市民からの要望・提案は議会で論議し、議会から行政機関へ話を持っていくという方法がよいのではないのでしょうか。

また、交通費や弁当代などの支給を視野に入れた有償ボランティアについては、確かに考えていく必要がありますね。

最近、NPO活動なしでは行政は動かなくなってきたように感じます。NPO活動をする上で改善しなければいけない問題はまだまだありますが、皆さんには「公と個人」をつなぐ存在として是非ともがんばっていただきたいと思っています。

# 新風会ひろば

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。  
<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>



新春日町供養盆踊り大会で



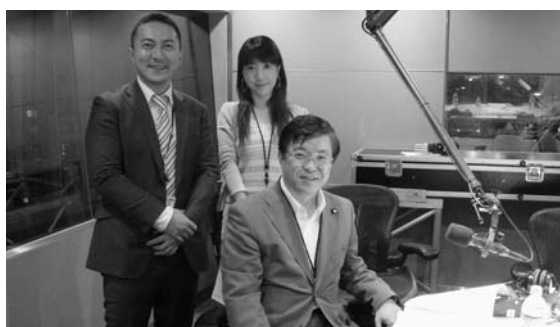
佐賀関地区ミニ集会



九電苅田発電所の屋上で



漁業経営危機突破漁民大会で



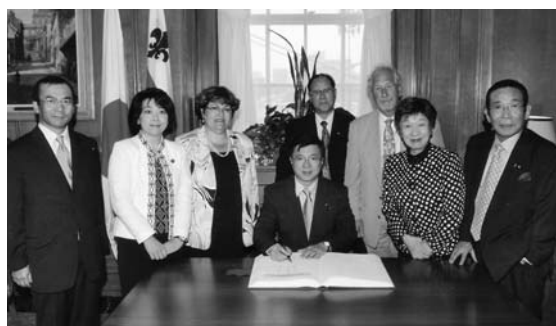
FMラジオに出演



サミットキャンペーン



支援者の皆さんと



モントリオール市役所で



## 磯崎陽輔新風会御入会のお願い

磯崎陽輔新風会では、会員を募集しています。磯崎陽輔の活動を応援して下さる方、是非御入会をお願いします。

入会のお申込みは、磯崎陽輔新風会まで御連絡ください。(TEL 097-535-8260)

ホームページからもお申込みいただけます。年会費は、1,000円です。下記の口座まで、お振り込みください。

■口座番号/郵便振替 01730-4- 118483 加入者名/磯崎陽輔新風会

いそざき陽輔東京後援会(TEL 03-3508-8610)でも、会員を募集しています。詳細はホームページで。